

ラバーシート INDEX

ゴム材質の選定について	2
ゴムシートの品番・包装形態について	3
ゴムシートの標準寸法・厚さ公差について	4
表・データの表記方法(見方)について	5

マクセルクレハララバーシート各種製品のご案内

環境対応Eシリーズ

合成ゴムシート

CR(クロロプレンゴム)シート	
NBR(ニトリルゴム)シート	
クレシード《耐候性NBR》	
耐ガソリン用ゴムシート	
水素化NBRシート	
EPDM(エチレン・プロピレンゴム)シート	
SBR系(耐摩性)ゴムシート	
IIR(ブチルゴム)シート	
CSM(クロロスルホン化ポリエチレン)シート	
ウレタンゴムシート	

天然ゴムシート

ブルーライナー	
天然白ゴムシート	

シリコンゴムシート

シリコンゴムシート	
高引裂・高伸張シリコンゴムシート	
シリコンスポンジシート	

フッソゴムシート

フッソゴムシート	
フッソスポンジシート	

用途・機能別ゴムシート

難燃性ゴムシート	
鉄道難燃ゴムシート	
導電性ゴムシート	
絶縁ゴムシート	
水道用ゴムシート	
低汚染性ゴムシート	
厚生省告示第85号適合シート	
道路関係ゴムシート	

制振ゴムシート(VBRAN ヴィブラン)

極薄ゴムシート(ぺらぺら君)

複合ゴムシート

UPラバー	
布入りゴムシート	
ガラスクロス入りシリコンゴムシート	
4フッ化エチレン(PTFE)貼ゴムシート	

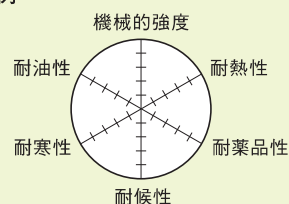
参考資料

- ゴム材料の荷重とたわみ量の関係について
- 主要ゴムの耐薬品性
- ゴムパッキン材料区分
- 加硫ゴム物理試験方法
- ゴムシートの使用に際してのご注意

ゴム材質の選定について

※ご使用の際の参考としてご利用下さい

■ 凡例



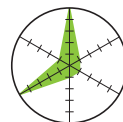
■ レーダーチャートの見方(5段階評価)

- 5 : 優れている **良**
 - 4 : 良好である
 - 3 : 中庸である
 - 2 : やや劣る
 - 1 : 劣る **悪**
- (注)評価は原料ゴム・ポリマーの一般的な特性・傾向を相対的に表したものです。品番・グレードによって評価が異なる場合があります。

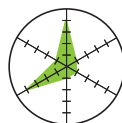
ACM
(アクリルゴム)



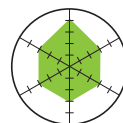
NR
(天然ゴム)



SBR
(スチレンブタジエン)



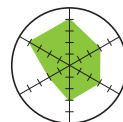
CR
(クロロプレンゴム)



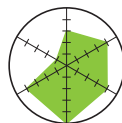
NBR
(ニトリルゴム)



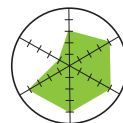
クレシード



EPDM
(エチレン・プロピレンゴム)



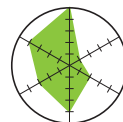
IIR
(ブチルゴム)



CSM
(クロロスルホン化ポリエチレン)



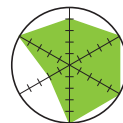
U
(ウレタンゴム)



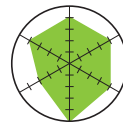
Q(Si)
(シリコンゴム)



FKM
(フッ素ゴム)



H-NBR
(水素化NBR)



環境対応Eシリーズ

合成ゴムシート

天然ゴムシート

シリコンシート

フッソシート

用途・機能別シート

制振ゴムシート
ヴィブラン

極薄ゴムシート

複合ゴムシート

参考資料

ゴムシートの品番について

品番の説明

材質区分		グレード区分		環境対応区分		構成区分	
記号	材質	記号	材質	記号	機能	記号	構成
A	アクリルゴム系	N	NBR(ニトリルゴム)系	1~2	汎用グレード	E	環境対応シリーズ
C	CR(クロロブレンゴム)系	S	シリコーンゴム系	3~4	中級グレード	無し	通常タイプ
E	EPDM(エチレンプロピレンゴム)系	SS	シリコーンスポンジ系	5~6	高級グレード		
F	フッソゴム系	U	ウレタンゴム系	7~9	特別グレード		
FS	フッソスポンジ系	V	ブチルゴム系				
G	天然ゴム系、SBR系	Z	水素化NBR系				
H	CSM(クロロスルホン化ポリエチレン)系						
M	クレシード系(NBR系)						

CB260NEP

色区分			
記号	色	記号	色
A	鉛	P	ピンク
B	黒	R	赤
D	ブルー	V	茶
G	緑	W	白
H	灰	Y	黄
O	オレンジ		

硬さ(タイプA)区分

機能系区分

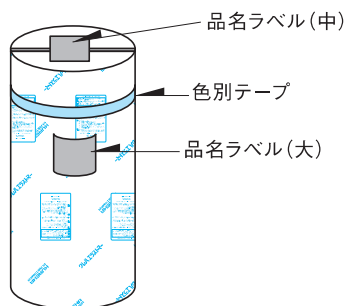
記号	機能	記号	機能
A	耐摩耗	N	汎用
B	制振性	Q	抗菌剤入り
D	85号適合	R	道路用
E	導電・静電性	S	水膨潤性
F	難燃性	T	高引裂用
G	耐ガソリン用	U	低汚染性
H	放熱性	V	粘着性
I	絶縁性	W	水道用
M	巻蒸	Z	磁性

(記載例) 材質 C = CR(クロロブレンゴム)系
 色区分 B = 黒
 グレード区分 2 = 汎用グレード
 硬さ区分(タイプA) 60 = 硬さ60
 機能系区分 N = 汎用
 環境対応区分 E = 環境対応シリーズ
 構成区分 P = 布入り、又は布貼り

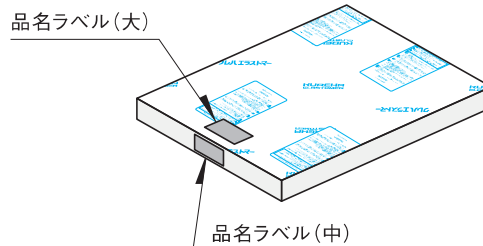
(注) 制振ゴム(VBRAN)、極薄シート、ガラスクロス入りシリコーンゴムの品番は特別品番にて表記しております。

包装形態

ロール状(巻物)の場合



板状の場合



色別テープについて(包装テープ部に使用しています)

材質	天然ゴム(NR)	CR	NBR	クレシード(NBR)	EPDM	ブチルゴム(IIR)	CSM	SBR	シリコーン(Q)	フッソ(FKM)	ウレタン(U)	アクリルゴム(ACM)
色	グレー	白	黄	黄	青	緑	赤	オレンジ	銀	金	なし	なし

ゴムシートの標準寸法・厚さの公差および偏肉

ゴムシートの標準寸法(合成・天然ゴムシート)

他の製品については、各項目をご参照ください。

(この数値は標準品に適用します)

厚さ (mm)	幅 (m)	長さ (m)
0.5~3	1	10または20
4~10	1	10
12~20	1	2または5
25~50	1	2
60~100	1	1または2

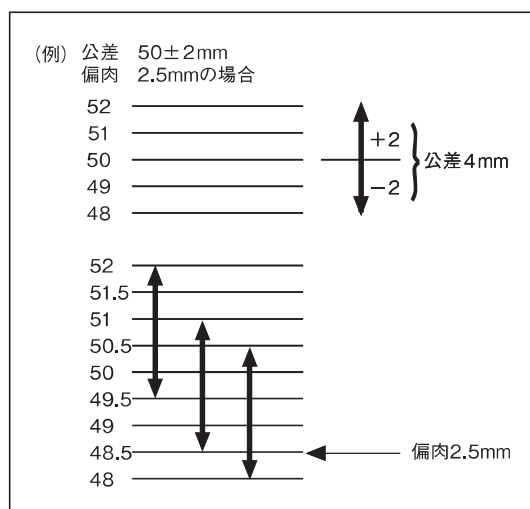
※他のサイズについてはご確認ください。

厚さの公差および偏肉(単位:mm)

合成ゴムシート			天然ゴムシート			特殊合成ゴムシート				
厚さ	公差	偏肉	厚さ	公差	偏肉	シリコン			フッ素	
						厚さ	公差	偏肉	公差	偏肉
1以下	± 0.15	0.2 以下	1以下	± 0.2	0.2 以下	1以下	± 0.2	0.25以下	± 0.2	0.25以下
2 ♪	± 0.2	0.2 ♪	2 ♪	± 0.25	0.3 ♪	2 ♪	± 0.2	0.25 ♪	± 0.2	0.25 ♪
3 ♪	± 0.25	0.35 ♪	4 ♪	± 0.3	0.4 ♪	3 ♪	± 0.25	0.35 ♪	± 0.25	0.35 ♪
4 ♪	± 0.3	0.4 ♪	9 ♪	± 0.5	0.6 ♪	4 ♪	± 0.3	0.40 ♪	± 0.3	0.40 ♪
9 ♪	± 0.4	0.6 ♪	10 ♪	+ 0.7 - 0.5	0.8 ♪	9 ♪	± 0.4	0.6 ♪	± 0.4	0.6 ♪
10 ♪	± 0.45	0.6 ♪	15 ♪	+ 1.0 - 0.6	0.8 ♪	10 ♪	± 0.45	0.6 ♪	± 0.45	0.6 ♪
12 ♪	± 0.5	0.8 ♪	20 ♪	+ 1.2 - 1.0	1.2 ♪	12 ♪	± 0.5	0.8 ♪	± 0.5	0.8 ♪
15 ♪	± 0.6	1.0 ♪	25 ♪	+ 1.5 - 1.0	1.5 ♪	15 ♪	± 0.6	1.0 ♪	± 0.6	1.0 ♪
20 ♪	± 1.0	1.5 ♪	30 ♪	+ 2.0 - 1.0	2.0 ♪	25 ♪	± 1.0	1.5 ♪	+ 1.5 - 0.5	1.5 ♪
25 ♪	± 1.0	1.5 ♪	50 ♪	+ 3.0 - 1.0	2.5 ♪	30 ♪	± 1.5	2.0 ♪	+ 2.5 - 0.5	2.0 ♪
35 ♪	± 1.5	2.0 ♪				40 ♪	± 2.0	2.5 ♪	+ 3.5 - 0.5	2.5 ♪
50 ♪	± 2.0	2.5 ♪				50 ♪	± 2.0	3.0 ♪	+ 3.5 - 0.5	3.0 ♪
51~70	+ 2.5 - 2.0	2.5 ♪								
71~90	+ 3.0 - 2.0	3.0 ♪								
91~100	+ 3.5 - 2.0	3.5 ♪								

※20~50mmのフッ素シートは、20,25,30,35,40,45,50mmの製造が可能です。

厚さの公差と偏肉との関係は次の通りです。



公差 = 公差とは、ゴムシート全体の厚さ許容範囲をいう。

偏肉 = 偏肉とは、ゴムシート一単位内の許容厚さバラツキ(最大値-最小値)をいう。

表・データの表記方法(見方)について

■ 試験方法

特に指定のない場合は「JIS K 6250」に準拠して実施しています。

■ 測定データ

表に記載されている全てのデータは当該材質の「代表値」を表しています。

■ 用語および試験方法と測定結果の説明

呼 称 …… 品番とは別に設定された呼び名

品 番 …… 当社の品番(3Pを参照)

硬 さ …… H A、H E：硬さ(左の数値はJIS K 6253:1997「硬さ」に準拠、()内はJIS K 6253-3:2012に準拠しています。)

引 張 特 性 …… T：JIS K 6251:2017「引張特性」に準拠、引張強さ(左の数値の単位はMPaで表示しています。)

E b：JIS K 6251:2017「引張特性」に準拠、切断時伸び(%)

引 裂 強 さ：JIS K 6252-1:2015「引裂特性」に準拠、引裂強さ(N/mm)

熱 老 化 特 性 …… JIS K 6257:2017「熱老化特性」に準拠。

△ H A：硬さ変化(JIS K 6253-1997「硬さ」に準拠した測定で表示しています。)

△ T：引張強さ変化率(%)

△ E b：切断時伸び変化率(%)

圧縮永久ひずみ …… JIS K 6262:2013「圧縮永久ひずみ」に準拠。

C S：測定条件(25%圧縮×試験温度×試験時間)での圧縮永久ひずみ(%)

耐 液 性 …… JIS K 6258:2016「耐液性」に準拠。

△ V：測定条件(試験温度×試験時間)での体積変化率(%)

△ W：測定条件(試験温度×試験時間)での重量変化率(%)

試験油は表記していない場合は全て「IRM903油」での試験データです。

静 的 せん断弾性率 …… JIS K 6254:2016「応力・ひずみ特性」より算出。

G：静的せん断弾性率(MPa)

※21Pの「ゴム材料の荷重とたわみ量の関係について」に必要な特性値です。

摩 耗 試 験 …… JIS K 6264-2:2005「耐摩耗性」に準拠。

〈アクロン摩耗〉

摩耗体積：測定条件(研磨輪A36-P7-V×傾角15度×荷重44.1N×500回転)での1000回転当りの摩耗体積(mm³)

〈テーバー摩耗〉

摩耗体積：測定条件(研磨輪H-22×荷重9.8N×1000回転)での摩耗体積(mm³)

反発弾性試験 …… 反発弾性率：ショブ式反発弾性試験機での試験データです。

体 積 抵 抗 率 …… JIS K 6271:2015「電気抵抗率の求め方」に準拠、体積抵抗率(Ω・m)

J I S 相 当 …… JIS K 6380:2014「ゴムパッキン材料・性能区分」に対して、測定値よりあてはめた相当を意味するものであり、規格該当を意味するものではありません。

《スポンジシート》

圧縮残留ひずみ …… JIS K-6400-4:2004を参考。

C s：測定条件(50%圧縮×試験温度×試験時間)での圧縮残留ひずみ(%)

■ 在庫品の表示

標準在庫と準標準在庫に分けて品番に以下のような表示をしています。

濃いブルー塗りつぶし  =標準在庫品(厚さ1mm~厚物)

薄いブルー塗りつぶし  =準標準在庫品(厚さ1mm~3mm 場合によっては5mm)

(注)材質により在庫厚みが多少異なる場合があります。詳しくはお問合せ頂きますようお願いいたします。